GAMBA!（ガンバ）

尾駮スポーツ少年団通信紙
第　９　号
平成１９年　１月２２日発行
発行元：尾駮スポーツ少年団
育成母集団

アンケート協力ありがとうございました！

年末の忙しい時期に、アンケートにお答えいただきありがとうございました。団員及び育成母集団、指導者の方々からいろいろな考えをいただきました。今年度から「スポーツを通しての子供達の健全育成」「大人達のスポーツ体験」「地域活性化」をねらいに尾駮スポーツ少年団はスタートしました。いろいろな活動等については前号でご覧になったと思います。

現在は、さわやかクラブを中心としての活動となり、皆で楽しく活動しています。今回のアンケートの結果をもとに、来年度の尾駮スポーツ少年団の活動や「子供達の健全育成」「大人達のスポーツ体験」「地域活性化」に役立てていきたいと思っています。

【アンケート集計】※但し、団員及び育成母集団員の合計から算出されています。

１．スポーツ少年団の活動自分自身にとってはどうでしたか？

ためになった。	５０．８％
スポーツが好きになった。	４７．５％
仲間が増えた。	３３．９％

２．今年度の（前期及び後期も含め）活動内容はどうでしたか？

楽しかった	７６．３％

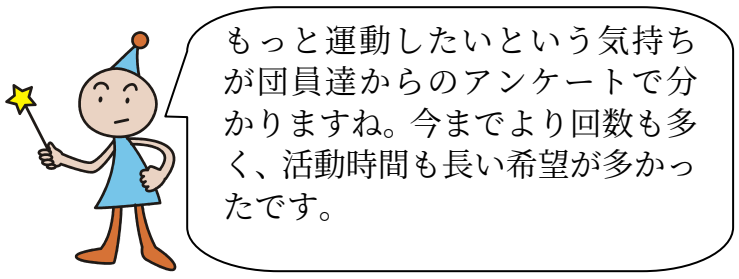
３．やってみたいスポーツ（子どもにやらせてみたいスポーツ）はどれですか？

団　員		育成母集団員（保護者）	
ドッジボール	７０．０％	剣　道	４８．３％
バトミントン	４６．７％	体　操	４１．１％
バレーボール	４０．０％	バレーボール・陸上競技・バトミントン	３４．５％

※武道（空手や少林寺拳法）やダンス、ヨガなどといったいろいろなスポーツをあげてくれる団員や育成母集団員もいました。

４．活動日数について週何回が良いと思いますか？

団　員		育成母集団員（保護者）	
３　回	５０．０％	２　回	６２．１％
２　回	３３．３％	４　回	６．９％
５　回	１０．０％		



５．どの程度の活動時間が良いと思いますか？

	団　員	育成母集団（保護者）
１時間３０分～２時間	４６．７％	５５．２％
１時間～１時間３０分	３０．０％	４４．８％

以上のような、今年度及び来年度に向けての結果でした。

※感想や要望等ではとても貴重な意見などありました。保護者（育成母集団員）がとても前向きな意見を役員等で来年度へ生かしていきたいと思います。

育成母集団で親睦会!!

１月１３日（土）育成母集団員による、親睦会を「だるまや」で行いました。育母集団員と指導者と総勢１２名で行いました。

話題は、今までの活動のことや子供達の成長してきた様子、また大人同士顔や名前などを覚えることができたことなどいろいろと話合いながら親睦を深めました。今回のスポ少紙にも掲載されている、皆さんからのアンケートのことも話題になり、来年度からの尾駮スポーツ少年団の活動に期待と楽しさが出ていることも分かる通り、今後のスポーツ少年団の活動が飛躍していくことを願っていました。

残り２ヶ月まだまだいろいろな活動等も計画していますので、みんなでスポーツを通して子どもの健全育成に励み、私たち大人の健康に向けて頑張っていければと思います。

陸上競技クラブ冬季合宿、無事終わる

年末の２５日（月）から２８日（木）の３泊４日、６年生以上を対象に冬季陸上競技クラブ体づくり合宿を東北町北総合運動公園で行いました。来年度の競技に向けての６年生５名、中学生１名合計６名と少ない人数で実施しましたが、各団員それぞれ今合宿における目標を決めての参加でした。その決めた目標に向けて一生懸命取り組んでいました。久しぶりの陸上競技活動に団員達も日を追うごとに体の痛みとの戦いのようでした。

合宿を振り返って

今回の合宿に来て、体力などを上げたので家でも週に１回でもトレーニングができたらと思いました。あと、集中力や瞬発力なども向上することができました。ウォータートレーニングもしっかりと取り組むことができました。ストレッチや体操もしっかりすることでケガもすることなくできました。中学校でも陸上部に入ってこのように続けていけたらいいなあと思います。（小６摩利亜）

４日間の合宿のめあては「精神力を高める」「５歩加速ができるように」でした。専門練習では、最初の５歩でいかに加速させるか頑張って取り組みましたが思ったようにいくことができませんでしたが、なんとなくコツをつかんだような気がします。精神力は自分自身では分からないので、これから過ごしていく中で周りの友達やコーチ、先生達が見て行ってくれると思います。ウォータートレーニングは思った以上に大変で努力しました。（小６大輝）

この合宿を通して、最初に立てためあて「中学生を追い越せるように練習する」でした。来年中学生になって部活動をやった時、先輩達を越せるかどうか分からないけど前向きに取り組んできたので良かったです。これから、なかなか活動日がないけれど、合宿で行なったストレッチやトレーニングなど家でもやっていき、中学生に備えていきたいです。来年の夏に合宿があったら参加し、もっと自分に力を付けていきたいと思います。（小６年杏奈）

合宿に来て、１０分間走やストレッチがきちんとできたことで走るペースが早くなったり体も柔らかくなったりしました。水中トレーニングでは歩いたり走ったりしました。水の抵抗が強くてなかなか前に進むことができませんでした。長距離練習をやってみようと思っていましたが、短距離の練習を主に行いました。ダッシュやタイムラン、インターバル、サーキットなどたくさん体を動かすことができました。

（小６美紗妃）

今合宿の目標は「体力を少しでもつける」「新しいことにチャレンジする」でした。初日からの活動で筋肉痛が大変でした。筋肉痛が取れるにしたがって、体がだんだん軽くなってきて体力がついたように思いました。また、砲丸投をやってみて、ただ投げるだけではなく、そのためにはいろいろな動作やコツがあることを知りました。中学校では、砲丸投をやってみたいと思います。中学校でも頑張っていきたいです。（小６莉穂）

来年の大会のための体づくりと技術を学びいかせる合宿にするために取り組みました。体力がついたかどうか実感はありませんが、砲丸投げの技術ではたくさんのことを学ぶことができました。今合宿のことを忘れずに、２年生からの大会では良い成績をねらっていきたいです。（中１大貴）

【編集後記】　**「指導者と保護者の微妙な摩擦」**　（スポーツジャスト１月号の掲載から）

いろいろとスポーツ少年団において、指導者と保護者（育成母集団）との摩擦があると言われます。指導者と保護者（育成母集団）の意識が昔の在り方に違いがあるからです。

昔は、**Ａ．指導者への昼ごはん　Ｂ．保護者の活動への協力姿勢　Ｃ．スパルタ的指導　Ｄ．スキンシップをとること**など当たり前でしたが、これらが今見直されてきています。指導者もそうですが、保護者（育成母集団）もいろいろと考えていかなくてはならなくなってきたと思います。

今の家庭環境等から考えて、上記のＡとＢについては今ほとんど行なっていないのが現状でしょう。特にＡは、指導者自らが持参していくように意識をもたなければなりません。また、Ｂは共働きが増え、子どもを預けたら帰るのが多いようです。但し、子どもの預け場所（託児所扱）と捉えるのはどうでしょうか？Ｃでは今「勝利主義的活動」のところはあるかもしれませんが、こちらも、指導者が学習し、団員の気持ちを感じ取り、活動を促すようにしているところが多くなってきています。最後のＤは「セクハラ」ということで指導者も指導する時には難しくなってきたと感じられます。

スポーツ少年団の活動をしていく中で、いろいろと指導者や保護者（育成母集団）と何らかの問題は生じます。その時は、団長や育成母集団長、または指導者に話をし、みんなで話し合う場を設けてみることが大事と感じています。

スポーツ少年団の活動の中心にあるのは、子ども（団員）なので、指導者と保護者がそれをサポートしていくことが一番大事なことです。指導者と保護者（育成母集団）がしっかりとタッグを組んで子ども達を育てていきましょう！！